

令和4年度第1回庄原市外国語教育研修会

令和4年7月8日（金） 庄原市立庄原小学校

＜研修会の目的＞

- ・ 小学校外国語科の授業研究を通して、本市小学生の実態及び小学校の取組を知るとともに、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に向けた指導方法の在り方について研究を深める。
- ・ 外国語科の授業づくりのポイントについて理解を深め、本市外国語教育の充実に資する。

【研究授業】第6学年 Unit3 「Let's go to Italy.」

授業者 庄原市立庄原小学校 教諭 賀島 直弥, ALT Blesselle Joy Oro

本時の目標

5年生におすすめの国を紹介するために、おすすめの国やその理由について友達と伝え合うことができる。

＜指導のポイント＞

☆児童が意欲的に取り組むことのできる単元のゴールの設定

⇒5年生におすすめの国を紹介することを単元のゴールとして設定することで、目的意識や相手意識を高めるとともに、相手に合わせた表現の工夫や他者に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に繋げる。

☆単元のゴールに向けたスモールステップ

⇒単元を通して言語活動に繰り返し取り組ませ、自信をもたせる。

☆振り返りの活用

⇒前時の振り返りを確認させたり、単元のゴールに立ち返らせたりすることで、自己の成長や課題を自覚させ、活動の目標をもたせる。



【研究協議】①児童のコミュニケーション能力の育成に向けた指導の工夫について

②外国語教育を充実させるための取組について

- 単元のゴールを意識させることが大切だと改めて感じた。ゴールを意識させることや既習事項を使用する機会をしっかりと取り入れていきたい。また、困ったことを全体で共有したり、good pointsを共有したりする場面を取り入れ、表現力を伸ばしていきたい。
- 使える英語を少しずつ増やしていき、積み重ねていくことが大切だと感じた。
- 児童の興味関心を引き出し、ゴールに向かっていく指導をされていたため、児童も楽しく活動ができていたのだと感じた。
- ICTの効果的な活用や小中連携を通して外国語教育を充実させる。



【講話・演習】「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に向けた外国語科の授業づくりについて」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 藤井 遥

○外国語科の授業づくりのポイントを確認し、単元計画を立てる演習を行った。

- ☑コミュニケーションを行う目的・場面・状況を明確に設定すること
- ☑ゴールで目指す児童生徒の具体的な姿（発話例等）のイメージをもつこと
- ☑毎回の授業においても、単元のゴールに繋がるような言語活動を設定し、児童生徒が自分の考えや気持ちを伝え合えるようにすること



【参加者の振り返りより】

- ・ 児童にどのような力を身に付けさせたいのかを常に意識し、言語活動を充実させていきたい。
- ・ 児童が自分の考えを伝え合えるようにスモールステップで言語活動を取り入れ、コミュニケーションを多く取ることのできる学習にしたい。
- ・ 必要な力は何か、どのような姿になってほしいかを明確にし、そのために必要な活動を年間、学期、単元のまとまりの中で設定していく。
- ・ ALTと連携する上で、どのような姿になってほしいかをイメージした上で単元のゴールを設定し、そのゴールをALT、児童としっかり共有していくことが大切だと感じた。
- ・ 英語を使おうという雰囲気を作ることが大切だと感じた。また、児童が英語で表現できたことをしっかり評価していきたい。